



INDEX

Numerics

1+1 光カード保護

- 削除 18-51
- 作成 17-65
- 説明 4-12
- テスト 17-84
- 半回線の作成 6-78
- 半回線のプロビジョニング 20-6, 20-7
- 光伝送速度のアップグレード 12-8, 19-96
- 変更 18-50
- ポートのアクティブ/スタンバイ状態の確認 18-80

1:1 電気回路カード保護

- 削除 18-51
- 作成 17-63
- 説明 4-12
- 変更 18-45

1:N 電気回路カード保護

- 削除 18-51
- 作成 17-64
- 説明 4-12
- 変更 18-47

10GE_XP カード

- Y 字型ケーブル保護 4-13
- 取り付けの確認 4-3

15454_MRC-12 カード MRC-12 カードを参照

A

add/drop マルチプレクサリニア ADM を参照

ADM-10G カード、取り付けの確認 4-3

ADM、リニア ADM を参照

AIC-I カード

- インストール 20-30
- オーダーワイヤ設定の変更 19-8
- 外部アラームおよび制御のプロビジョニング 9-11
- 外部アラームの変更 19-7
- 外部制御の変更 19-7

設定の変更 10-4

ALS

- メンテナンス設定の変更 19-16
- モードの設定 18-12

ALS、ALS を参照

ARP スニффイング 17-43

AutoPM

- イネーブル化 8-10
- ディセーブル化 8-10

B

BER

- 高次回線のテスト 6-77
- 低次回線のテスト 6-62

BITS

- BITS out 基準 17-60
- タイミングの設定 4-11
- ファシリティ 17-60, 17-62

building integrated timing supply、BITS を参照

C

CARLOSS アラーム 6-102

CE シリーズイーサネット カード

- PM パラメータの表示 18-78, 18-81, 18-83
- POS ポートのプロビジョニング 18-35
- VCAT 回線の作成、手動ルーティング 6-118
- 自動ルーティングされた VCAT 回線の作成 6-114
- パフォーマンス モニタリング 8-5

CE-1000-4 カード

- CE シリーズイーサネット カードも参照
- インストール 2-12
- ポートのプロビジョニング 19-9

CE-100T-8 カード

- CE シリーズイーサネット カードも参照
- インストール 2-12
- ソフトリセット 18-3

- ハードリセット 18-2
- ポートのプロビジョニング 18-31
- CE-MR-10 カード
 - CE シリーズイーサネットカードも参照
 - インストール 2-12
 - ポートのプロビジョニング 18-31
- Cisco IOS、接続のオープン A-7
- Cisco MDS 9000 スイッチ 20-58
- Cisco TransportPlanner、コンフィギュレーション ファイルのインポート 20-85
- CLETOP、ファイバコネクタの清掃 19-5
- CORBA 17-57
- CTC
 - Alerts ダイアログボックスの設定 17-21
 - CD-ROM からのインストール 21-21
 - JAR ファイルのインストールまたは再インストール 21-62
 - PC の接続 3-4
 - PC の設定も参照
 - PC の要件 21-20
 - UNIX ワークステーションの要件 21-24
 - Windows Vista の設定 21-62
 - アラートテキストの保存 17-24
 - インストール ウィザード 21-20, 21-24
 - オンライン ヘルプを使用 A-8
 - カードの保護設定 4-12
 - 現在のセッションからのノードの削除 17-30
 - 現在のセッションへのノードの追加 17-53
 - 終了 A-5
 - セキュア モード 4-9
 - タイミングの設定 4-11, 11-8
 - ツールバー アイコン、ツールバー ボタンを参照
 - データの印刷 18-39
 - データのエクスポート 18-41
 - ネットワーク アクセスの設定 4-8
 - ネットワーク アクセスの変更 11-3
 - ネットワーク ビューのカスタマイズ 11-5
 - ネットワーク検出中のアップグレード 3-8
 - ノードの設定 4-5
 - バックアップ 15-6
 - ビュー、ビューを参照
 - ファイアウォール アクセス 4-10
 - マウスによるビューの変更 A-9
 - マウスを使用 A-9
 - ユーザ権限の変更 18-84
 - ランチャ アプリケーション 3-9
 - ランチャ アプリケーションのインストール 21-54
 - リモート サイト アクセス 3-7
 - ログイン 3-8, 17-49
 - ログイン ノード グループ 17-52
 - ロック A-5
 - CTC アラートの自動ポップアップ、設定 17-21
 - CTC ネットワーク ビューのカスタマイズ 11-5
 - CTC へのログイン 3-8, 17-49
 - CTC ランチャ
 - TL1 トンネルの作成 21-56
 - TL1 トンネルの表示 21-59
 - インストール 21-54
 - 接続 21-55
- D
- DCC
 - MS-DCC 終端の削除 20-67
 - MS-DCC 終端のプロビジョニング 20-70
 - MS-DCC 終端の変更 20-63
 - OSPF エリア ID 19-64
 - OSPF のメトリック 19-64
 - RS-DCC 終端の削除 20-64
 - RS-DCC 終端のプロビジョニング 20-67
 - RS-DCC 終端の変更 20-64
 - 終端の削除 11-7
 - 終端の変更 11-7
 - DCC トンネル
 - IP カプセル化トンネルへ変更 17-26
 - 削除 17-28
 - 作成 20-65
 - DCC、DCC を参照
 - DCN、OSI のプロビジョニング 4-16
 - DHCP
 - イネーブル化 19-61
 - クラフト接続の設定 17-41
 - サーバのプロビジョニング 4-8
 - DHCP、DHCP を参照
 - DLP、定義 xxii
 - DNS 設定 3-6
 - DRI、プロビジョニング
 - MS-SPRing/SNCP DRI 5-36
 - SNCP DRI 5-32
 - SNCP および MS-SPRing も参照
 - 従来型 MS-SPRing DRI 5-23

- 統合 MS-SPRing DRI 5-25
- 統合 MS-SPRing/SNCP DRI 5-38
- 統合 SNCP DRI 5-34
- DS3i-N-12 カード
 - 回線の設定変更としきい値の変更 20-44
 - 電気回路カードも参照
- Dual-Ring Interconnect
 - DRI、プロビジョニングを参照
 - MS-SPRing、DRI を参照
 - SNCP、DRI を参照
- DWDM
 - TDM ビューへの切り替え 20-87
 - ファイバの配線 2-21
- E
- E シリーズ イーサネット カード
 - E シリーズ イーサネット カードのモードのプロビジョニング 19-57
 - EtherSwitch 回線 6-82
 - GBIC の取り付け 20-31
 - PM カウントのリフレッシュ 21-37
 - インストール 2-12
 - 回線のテスト 6-103
 - 共有パケット リング回線 6-89
 - シングルカード EtherSwitch クロスコネク、手動 6-96
 - ハブアンドスポーク回線 6-93
 - パフォーマンス モニタリング 8-5
 - ファイバのルーティング 2-22
 - ポートのプロビジョニング 19-21, 19-23
 - ポートマップ モードの回線の作成 6-86
 - ポートマップ モードのクロスコネクの作成、手動 6-105
 - マルチカード EtherSwitch クロスコネクの作成、手動 6-99
 - メンテナンス情報の表示 15-21
- E1000-2-G カード E シリーズ イーサネット カードを参照
- E1-42 カード
 - 回線の設定変更としきい値の変更 20-71
 - 電気回路カードも参照
- E1-75/120 変換パネルの取り付け 1-15
- E3-12 カード
 - 回線の設定変更としきい値の変更 20-41
 - 電気回路カードも参照
- End Network Element 18-48
- End System HelloESH を参照
- End-of-Life 通知 xxiii
- End-of-Sale 通知 xxiii
- ES 18-58
- ESH 18-66
- ES-IS、RIB の表示 18-73
- F
- FC_MR-4 カード
 - Cisco MDS 9000 の相互運用性 20-58
 - GBIC の取り付け 20-31
 - PM パラメータの表示 21-41, 21-42, 21-43
 - RMON アラームしきい値の削除 21-48
 - RMON アラームしきい値の作成 21-45
 - VCAT 回線の作成 6-114, 6-118
 - インストール 2-14
 - しきい値変数 (MIB) 21-45, 21-46
 - 取り付けの確認 4-3
 - パス トレース 19-78
 - パフォーマンス モニタリング 8-9
 - 汎用ポート設定の変更 20-57
 - ファイバのルーティング 2-22
 - 別の間隔での PM カウントのリフレッシュ 21-44
 - ポートの拡張 FC/FICON 設定の変更 20-61
 - ポートの距離延長設定の変更 20-59
 - ポートの設定変更としきい値の変更 10-7
 - リセット 15-19, 17-33
- FMEC
 - FMEC カバーの取り付け 1-20
 - カバーのオープン 20-14
 - カバーの取り外し 20-15
 - ケーブルの取り付け 20-21
 - 電気回路ケーブルの取り付け 1-18
 - 電源および信号 FMEC の取り付け 1-9
- G
- G シリーズ イーサネット カード
 - GBIC の取り付け 20-31
 - PM カウントのリフレッシュ 21-37
 - インストール 2-12
 - 回線のテスト 6-111
 - クロスコネク、手動 6-105
 - パフォーマンス モニタリング 8-5

- ファイバのルーティング 2-22
- フロー制御の水準点のプロビジョニング 20-56
- ポートのプロビジョニング 6-108, 19-24
- メンテナンス情報の表示 15-20
- G1K-4 カード G シリーズ イーサネット カードも参照
- Gateway Network Element 18-46
- GBIC
 - インストール 20-31
 - 取り外し 20-34
 - ファイバのルーティング 2-22
- GE_XP カード
 - Y 字型ケーブル保護 4-13
 - 取り付けの確認 4-3
- H
- Hello インターバル、OSPF 19-65
- I
- IEEE 802.17 RPR 回線、ひょうじ 7-16
- IIH 18-66
- IIOP リスナー ポート
 - 選択 19-61
 - プロビジョニング 4-8, 17-57, 17-58
- Intermediate System Hello *ISH* を参照
- Intermediate System Level 1/Level 2、IS Level 1/Level 2 を参照
- Intermediate System Level 1、IS Level 1 を参照
- Intermediate System-to-Intermediate System IS-IS を参照
- intermediate-path performance monitoring IPPM を参照
- Internet Explorer
 - プロキシサービスのディセーブル化 17-47
 - ログイン 17-49
- IP アドレス
 - LCD による設定 17-54
 - NMS 4-14
 - 回線の修復 17-27
 - クラフト接続の設定 17-38
 - ログイン用の IP アドレスの選択 17-51
- IP カプセル化トンネル
 - DCC トンネルへ変更 17-26
 - IP アドレスの修復 17-27
 - 削除 17-28
 - 作成 17-3
- IP 設定
 - プロビジョニング 19-60
 - 変更 19-82
- IP トンネルの修復 17-27
- IP-over-CLNS トンネル
 - 削除 18-72
 - 作成 18-66
 - 編集 18-71
- IPPM
 - イネーブル化 18-20, 18-22
 - 監視対象 IPPM 18-22
 - 使用理由 18-22
 - ディセーブル化 18-20, 18-23
- IS Level 1 18-59
- IS Level 1/Level 2 18-59
- ISH 18-66
- IS-IS、RIB の表示 18-73
- J
- J0 セクション トレース 7-9
- J1 パス トレース
 - 作成 7-11
 - プロビジョニング 18-33, 19-77
- Java
 - Plug-in Security Warning 21-1
 - ポリシー ファイル 21-1
- Java 仮想メモリ、JVM を参照
- JRE
 - バージョン 1.4.2 21-20
 - バージョン 5.0 21-20
 - バージョンの変更 21-4
- JVM、ヒープ サイズの調整 19-27
- K
- K3 バイトの再マップ 20-76
- L
- LAN
 - MIC-C/T/P のケーブルの取り付け 20-19
 - ONS 15454 SDH との接続 3-6
 - OSI サブネットのイネーブル化 18-65
 - OSPF の設定 4-8

- PC から ONS 15454 SDH への接続 3-5
- 接続ポイント TCC2 カードまたは TCC2P カードを参照
- 配線 1-17
- ピン割り当て 20-20
- モデム 3-7
- LCD
 - IP アドレスの変更 17-54
 - PPM 情報の表示 10-11
 - アラーム カウントの表示 9-6
 - デフォルト ルータの変更 17-54
 - ネットワーク マスクの変更 17-54
 - ネットワーク設定のプロビジョニング 4-8
 - ポート ステータスの表示 21-19
- LGX インターフェイス 17-34
- Line Terminating Equipment 18-20
- M
- MAC アドレス 19-61
- MetroPlanner、Cisco TransportPlanner を参照
- MIB 21-33, 21-45, 21-46
- MIC-A/P 20-16
- MIC-C/T/P
 - LAN ケーブルの取り付け 20-19
 - TL1 クラフト インターフェイスの取り付け 17-72
 - クロック コネクタのピン割り当て 20-19
 - タイミング ケーブルの取り付け 20-18
- ML シリーズ イーサネット カード
 - CiscoIOS コマンドライン インターフェイス A-7
 - POS ポート PM パラメータの表示 20-55
 - RPR スパン PM パラメータ 19-29
 - SFP の取り付け 20-31
 - VCAT 回線の作成 6-114
 - VCAT 回線の作成、手動ルーティング 6-118
 - イーサネット ポートの PM パラメータ表示 20-54
 - インストール 2-12
 - カード モードのプロビジョニング 19-11
 - ソーク タイマーのプロビジョニング 10-10
 - パフォーマンス モニタリング 8-5
 - ファイバのルーティング 2-22
- ML1000-2 カード ML シリーズ イーサネット カードを参照
- ML100T-12 カード ML シリーズ イーサネット カードを参照
- ML100X-8 カード ML シリーズ イーサネット カードを参照
- ML-MR-10 カード ML シリーズ イーサネット カードを参照
- Molex 96 ピン LFH コネクタ 20-21
- MRC-12 カード
 - ALS 設定変更 19-16
 - PPM の削除 18-30
 - SFP/XFP の取り付け 20-31
 - 最大帯域幅 2-8
 - パフォーマンス モニタリング 8-8
 - 光カードも参照
 - 光回線レートのプロビジョニング 18-29, 18-30
 - ファイバクリップ 2-22, 18-3
 - マルチレート PPM のプロビジョニング 18-28
- MRC-2.5G-12 カード
 - PPM の削除 18-30
 - パフォーマンス モニタリング 8-8
 - 光カードも参照
 - 光回線レートのプロビジョニング 18-29, 18-30
 - ファイバクリップ 18-3
 - マルチレート PPM のプロビジョニング 18-28
- MS-DCC、DCC を参照
- MS-SPRing
 - DRI 5-23, 5-25
 - ID または復元時間の変更 13-23
 - K3 バイトの再マップ 20-76
 - SNCP から 2 ファイバへの変換 13-19
 - アップグレード 12-8, 13-7, 13-16, 13-21, 19-93, 19-94
 - ウィザード 17-12
 - 受け入れテスト、2 ファイバ 5-17
 - 受け入れテスト、4 ファイバ 5-20
 - 拡張バイト マッピングの確認 20-86
 - 強制切り替え外部切り替えコマンドを参照
 - 切り替えテスト 17-87
 - 作成 5-16, 17-25, 19-52, 21-49, 21-51
 - 従属 5-45, 5-47, 5-48
 - スケルチ テーブルの表示 20-84
 - スタティック ルート作成の条件 14-4
 - スパンの負荷、外部切り替えコマンドも参照
 - テスト 17-93, 19-18
 - ノード ID の変更 17-21
 - ノードの削除 14-8
 - ノードの追加 14-2

- ノードのドロップ後のタイミングの確認
18-86
- 半回線の作成 6-78
- 光ファイバケーブルのインストール 20-39
- ファイバ接続の確認 5-14
- 復元切り替え 13-8, 13-17, 17-13, 21-49
- プロパティの選択 5-16
- プロビジョニング 5-14, 5-23, 5-25, 5-36, 5-38,
20-6
- マニュアル切り替え、外部切り替えコマンドも参
照
- リングのディセーブル化 18-87
- リング名のプロビジョニング 13-23
- ロックアウト、外部切り替えコマンドも参照
- Multiplex-Section Data Communications Channel、DCC を
参照
- MXP カード
 - Y 字型ケーブル保護 4-13
 - 取り付けの確認 4-3
- N
- NE のデフォルト値ネットワーク要素のデフォルト値
を参照
- Netscape Navigator
 - テスト、ノード接続 20-12
 - プロキシサービスのディセーブル化 17-48
 - ログイン 17-49
- Network Time Protocol 4-5
- NTPNetwork Time Protocol を参照
- O
- OADM ノード、アイコン A-3
- OC192/STM64 Any Reach カード光カードを参照
- OC192SR1/STM64IO Short Reach カード光カードを参
照
- OSI
 - LAN インターフェイス 18-65
 - Router Editor ダイアログボックス 18-64
 - サブネットのイネーブル化 18-65
 - サブネットワーク ポイント オブ アタッチメント
の編集 18-70
 - 情報の表示 15-10
 - トンネリング 18-66
 - プライマリ エリア アドレス 18-64
 - プロビジョニング 4-16, 18-58, 18-63, 18-64
 - プロビジョニングの変更 11-4
 - ルータ設定の編集 18-69
 - ルーティング モードの変更 18-68
- OSPF
 - インターバル 19-65
 - 設定または変更 19-64
 - ディセーブル化 18-38
 - プライオリティ レベル 19-65
- P
- PC のセットアップ
 - JRE のインストール 21-20
 - ONS 15454 SDH への接続 3-2
 - クラフト接続 17-38, 17-41, 17-43
 - 社内 LAN 接続 3-6
 - ブラウザのインストール 3-2
 - プロキシサービスのディセーブル化 17-47
 - 要件 21-20
 - リモート (モデム) アクセス 3-7
- Performance Monitoring
 - FC_MR-4 8-9, 21-45
 - FC_MR-4 カードのパラメータの表示 21-41,
21-42, 21-43
 - intermediate-path performance monitoringIPPM を参
照
 - IPPM 18-20
 - ML シリーズ RPR スパンパラメータ 19-29
 - ML シリーズのパラメータ表示 20-54, 20-55
 - MRC-N カード 8-8
 - Threshold Crossing AlertTCA を参照
 - イーサネット カードおよびポート 8-5
 - イーサネット カウントのリフレッシュ間隔変更
19-72
 - イーサネット パラメータの表示 19-70, 19-71,
19-72
 - カウントの表示 18-25
 - 格納されているカウントのクリア 21-40
 - クリア権限の変更 21-29
 - 現在の (ベースライン) カウントのリセット
18-26
 - しきい値の変更 10-3, 10-7
 - 自動リフレッシュ間隔の設定 19-73
 - すべてのしきい値のクリア 19-89
 - 選択した信号のカウントのモニタ 21-38
 - 手順 8-1
 - 電気回路カードおよびポート 8-3

- 光カード パラメータの表示 21-2
- 光カードおよびポート 8-7
- 表示の変更 8-2
- ポインタ位置調整カウン트의イネーブル化 18-20
- ポインタ位置調整カウン트ポインタ位置調整カウン트를参照
- リフレッシュ 18-23, 18-24, 19-74, 21-37, 21-44
- PMPerformance Monitoring を参照
- PPM
 - GBIC も参照
 - LCD 上の情報表示 10-11
 - SFP/XFP も参照
 - 削除 10-9, 18-30
 - 事前プロビジョニング 18-8
 - プロビジョニング 10-9, 18-28, 18-29
 - 変更 10-8, 10-9, 18-30
- R
- RADIUS、ノードの設定 18-5
- RAM
 - CTC の PC 要件 21-20
 - CTC の UNIX 要件 21-24
- RIB
 - ES-IS 18-73
 - IS-IS 18-73
- Routing Information Base *RIB* を参照
- RIP 19-66
- RMON
 - FC_MR-4 しきい値の削除 8-10, 21-48
 - FC_MR-4 しきい値の作成 8-10, 21-45
 - イーサネットしきい値の削除 8-6, 21-28
 - イーサネットしきい値の作成 8-6, 21-31
- RPR
 - IEEE 802.17 回線の表示 7-16
 - ML シリーズ スパン PM パラメータの表示 19-29
- RS-DCC、DCC を参照
- S
- SDH DCC、DCC を参照
- SFP/XFP
 - PPM も参照
 - インストール 20-31
- 事前プロビジョニング 18-8
- 取り外し 20-34
- ファイバのルーティング 2-22
- Shell Access 21-29
- Small Form-Factor Pluggables、SFP/XFP も参照
- SNCP
 - DRI 5-36, 5-38, 20-37
 - アップグレード 12-8, 13-13, 13-15, 13-16, 13-19, 19-95
 - 受け入れテスト 5-29
 - 開放端 SNCP の受け入れテスト 5-42
 - 開放端回線の作成 6-126
 - 強制切り替えの開始 18-87
 - 強制切り替えのクリア 18-88
 - 自動ルーティングによる回線のトポロジ アップグレード 21-53
 - 従属 5-45, 5-47
 - 手動ルーティングによる回線のトポロジ アップグレード 21-52
 - スタティック ルート作成の条件 14-12
 - スパン全体の切り替え A-11
 - スパンの保護切り替えテスト 17-95
 - ノードの削除 14-15
 - ノードの追加 14-12
 - ノードのドロップ後のタイミングの確認 18-86
 - 半回線の作成 6-80
 - 光ファイバ ケーブルの取り付け 20-35
 - プロビジョニング 5-27, 5-32, 5-34, 5-36, 5-38, 5-40, 19-20, 20-7
 - 編集 19-35, 19-76
- SNMP
 - End Network Element 18-48
 - Gateway Network Element 18-46
 - 宛先の作成 4-14
 - コミュニティ スtring のフォーマット化 18-56
 - 設定 4-14
 - デフォルトの UDP ポート 19-88
 - トラップ バージョンの選択 4-14
 - トラップ宛先の削除 18-57
 - トラップ宛先の修正 19-87
- SNTP 4-5
- SOCKS
 - SOCKS サーバの指定 19-89
- SOCKS プロキシ サーバのプロビジョニング 4-8

- Solaris
- ONS 15454 SDH へのクラフト接続の設定 20-11
 - ONS 15454 SDH へのケーブルの接続 3-5
 - クラフト接続 20-11
 - プロキシサービスのディセーブル化 17-48
- Squelch テーブル 20-84
- SSM
- イネーブル化、外部タイミングまたはライン タイミング 17-61
 - イネーブル化、内部タイミング 17-63
 - 光カード上でのイネーブル化 18-11
- STM1-8 カード光カードを参照
- STM1E-12 カード
- 回線の設定変更としきい値の変更 20-49
 - 電気回路カードも参照
- STM-1 カード光カードを参照
- STM-4 カード
- STM4-4 カードへのアップグレード 12-8, 12-14
 - 光カードも参照
- STM-16 カード光カードを参照
- STM4-4 カード光カードを参照
- STM-64 カード
- ALS 設定変更 19-16
 - 光カードも参照
- STM64-XFP カード
- PPM の削除 18-30
 - 光カードも参照
 - XFP の取り付け 20-31
- STM-N カード光カードを参照
- STP スパニング ツリー プロトコルを参照
- T
- TARP
- Manual Adjacency Table エントリの削除 18-67
 - Manual Adjacency Table エントリの追加 18-63
 - TDC からのスタティック TID/NSAP エントリの削除 18-62
 - データ キャッシュの管理 18-74
 - データ キャッシュへのスタティック TID/NSAP エントリの追加 18-61
 - 動作パラメータのプロビジョニングまたは変更 18-59
 - プロビジョニング 4-16
- TCC2 カード
- LCD によるリポート 17-56
 - RJ-45 (LAN) ポート 3-5, 3-7
 - TCC2 から TCC2P へのアップグレード 12-6
 - インストール 20-25
 - 切り替えテスト 19-67
 - 障害回復のためのデータベースのクリア 15-11
 - ソフトリセット 15-19
 - データベースのバックアップ 15-6
 - データベースへの復元 15-7
 - 取り付けの確認 4-2
 - リセット 17-32
 - リポート動作 19-63
- TCC2P カード
- LCD によるリポート 17-56
 - RJ-45 (LAN) ポート 3-5, 3-7
 - TCC2 から TCC2P へのアップグレード 12-6
 - インストール 20-25
 - 切り替えテスト 19-67
 - セキュアモード 19-82
 - ソフトリセット 15-19
 - データベースのバックアップ 15-6
 - データベースへの復元 15-7
 - 取り付けの確認 4-2
 - リセット 17-32
 - リポート動作 19-63
- TDM ネットワーク ビュー、DWDM ビューへの切り替え 20-87
- Threshold Crossing Alert(TCA) を参照
- TID Address Resolution Protocol(TARP) を参照
- TL1 トンネル
- CTC での編集 21-60
 - CTC の表示 21-59
 - CTC ランチャでの作成 21-56
 - CTC ランチャによる管理 3-9
 - CTC を使用 21-58
 - CTC を使用した削除 21-61
 - 管理 3-9
- TL1、接続のオープン A-7
- TransportPlanner、Cisco TransportPlanner を参照
- TXP カード
- Y 字型ケーブル保護 4-13
 - 取り付けの確認 4-3

- U**
- User Data Channel
- 削除 17-28
 - 作成 19-10
- V**
- VCAT 回線
- 始点と終点のプロビジョニング 19-91
 - 自動ルーティング 6-114
 - 手動ルーティング 6-118
 - プロビジョニング 17-31
 - メンバーのサービス状態の変更 17-74
 - メンバーの削除 17-71
 - メンバーの追加 17-68
 - ルートのプロビジョニング 17-22
- VLAN
- CTC メニューを使用した管理 A-7
 - E シリーズ ポートのプロビジョニング 19-23
 - イーサネット回線用 VLAN を作成 6-94, 6-98
 - 管理 7-15
 - 削除 17-30, 19-59
 - 作成 19-53
 - 使用可能な VLAN の確認 17-102
 - トポロジホストの管理 7-15
- W**
- WINS 設定 3-6
- X**
- XC-VXC-10G カード
- アップグレード 12-2, 12-4
 - インストール 20-28
 - 交換 15-25?15-26
 - サイド切り替えテスト 19-69
 - スロットの互換性 2-5
 - 取り付けの確認 4-2
 - リソース使用状況の表示 7-3
- XC-VXL-10G カード
- アップグレード 12-2, 12-4
 - インストール 20-28
 - 交換 15-25?15-26
 - サイド切り替えテスト 19-69
- XC-VXL-2.5G カード
- アップグレード 12-2
 - インストール 20-28
 - 交換 15-25?15-26
 - サイド切り替えテスト 19-69
 - スロットの互換性 2-4
 - 取り付けの確認 4-2
 - リソース使用状況の表示 7-3
- XFPSFP/XFP を参照
- Y**
- Y 字型ケーブル保護
- 削除 18-51
 - 説明 4-13
- あ**
- アース
- インストール 1-11
 - 接続 17-14
- アイドル時間 17-67, 17-68
- アクティブ ログイン
- 終了 18-7
 - 表示 18-7
- アクティブ ログインの終了 18-7
- アップグレード
- 2 ファイバ MS-SPRing 19-93
 - 4 ファイバ MS-SPRing、手動 19-94
 - DS3i-N-12 カードを 1:1 から 1:N 保護へ 10-5
 - MS-SPRing 13-21
 - SNCP 13-16, 13-19, 19-95
 - TCC2 から TCC2P へ 12-6
 - XC-VXL-10G から XC-VXC-10G 12-4
 - XC-VXL-2.5G から XC-VXC-10G へ 12-2
 - XC-VXL-2.5G から XC-VXL-10G へ 12-2
 - カードとスパン 12-1?12-14
 - 自動的な光カードおよびスパン 12-8
 - 手動で 1+1 スパン保護グループ 19-96
 - 手動で非保護スパン 19-98
 - スパン、ネットワーク ビューから A-12
 - ネットワーク トポロジ A-7
 - ネットワーク検出中の CTC 3-8

- 光スパン (手動) 12-12
- ポイントツーポイント型構成 13-2, 13-5, 13-10, 13-13, 13-15
- 保護されていないポイントツーポイント型構成 13-7
- リニア ADM 13-10, 13-13, 13-15
- アラート テキストの保存 17-24
- アラート、保存 17-24
- アラーム
 - FC_MR-4 RMON しきい値の削除 21-48
 - FC_MR-4 RMON しきい値の作成 21-45
 - LCD のアラーム カウント表示 9-6
 - MIC-A/P のケーブルの取り付け 20-16
 - アラーム プロファイルも参照
 - アラーム重大度も参照
 - アラーム履歴のセッション エントリ 最大数の変更 18-14
 - イーサネット RMON しきい値の削除 21-28
 - イーサネット RMON しきい値の作成 21-31
 - 影響を受ける回線の表示 9-5
 - 外部、変更 19-7
 - 起動 (抑制しない) 21-17
 - クリアされたアラームの表示からの削除 9-4
 - シェルフとファン トレイに互換性がない場合のアラーム 15-27
 - 時間帯で表示 18-15
 - 重大度プロファイル、アラーム プロファイルを参照
 - 同期 18-16
 - トラブルシューティング『Cisco ONS 15454 SDH Troubleshooting Guide』を参照
 - ネットワークをチェック 19-99
 - 配線 1-17
 - 表示 9-3, 17-76
 - ピン割り当て 20-16
 - フィルタ パラメータの変更 9-9, 21-14
 - フィルタリングのイネーブル化 9-9, 19-28
 - フィルタリングのディセーブル化 9-9, 19-29
 - 抑制 9-10
 - 抑制の中止 21-17
 - 履歴 18-14
 - 履歴の表示 21-4
 - レポートの抑制 21-16
- アラーム プロファイル
 - カードおよびノードへの割り当て 18-18
 - 削除 21-12
 - 作成 21-6
 - ダウンロード 19-25
 - ポートへの割り当て 21-10
- アラーム プロファイルのダウンロード 9-8, 19-25
- アラーム重大度
 - フィルタの処理 9-9
 - プロファイルの処理 9-8
- アラームの同期 18-16
- 安全手順
 - 各国語 xxiv
- い
- イーサネット
 - CE シリーズ イーサネット カードも参照
 - CE-1000-4 ポートのプロビジョニング 19-9
 - E シリーズ EtherSwitch 回線 6-82
 - E シリーズ イーサネット カードも参照
 - E シリーズ ポートのプロビジョニング 19-21, 19-23
 - E シリーズ マルチカード EtherSwitch クロスコネクタ、手動 6-99
 - E シリーズの共有パケット リング回線 6-89
 - G シリーズ イーサネット カードも参照
 - G シリーズ フロー制御水準点のプロビジョニング 20-56
 - G シリーズ ポートのプロビジョニング 6-108, 19-24
 - MAC アドレス テーブルの表示 20-5
 - ML シリーズ イーサネット カードも参照
 - PM カウントのリフレッシュ 時間間隔の変更 19-72
 - PM パラメータの表示 19-70, 19-71, 19-72
 - RMON しきい値の削除 8-6, 21-28
 - RMON しきい値の作成 8-6, 21-31
 - カードの取り付け 2-12, 17-33
 - カードの取り付けの確認 4-3
 - カードのリセット 15-19, 17-33
 - 回線 6-82?6-112
 - 回線のテスト 6-103
 - しきい値変数 (MIB) 21-33
 - トランク使用状況の表示 20-5
 - ハブアンドスポーク回線 6-93
- 緯度、設定 4-5
- イネーブル化
 - AutoPM 8-10
 - DHCP 19-61
 - IPPM 18-20, 18-22

- OSI サブネット、LAN インターフェイス上
18-65
- アラーム フィルタリング 9-9, 19-28
- アラームの抑制 9-10
- ダイアログボックス非表示オプション 19-84
- ノードのセキュリティ モード 17-79
- ポインタ位置調整カウンタ 18-20
- イベント、表示 9-3
- 色
 - アクティブ スパンおよびスタンバイ スパンの変更 19-33
 - ネットワーク ビューの背景の変更 18-38
- 印刷
 - CTC データ 18-39
 - ツールバーを使用 A-5
- インストール
 - 120 ohm E-1 ケーブル 20-21
 - AIC-I カード 20-30
 - CD-ROM、CTC 21-21
 - CTC 21-20, 21-24
 - CTC JAR ファイル 21-62
 - CTC ランチャ 21-54
 - E1-75/120 変換パネル 1-15
 - FC_MR-4 カード 2-14
 - FMEC カバー 1-20
 - FMEC の電気回路ケーブル 1-18
 - GBIC、SFP、または XFP デバイス 20-31
 - MIC-C/T/P の LAN ケーブル 20-19
 - MIC-C/T/P への TL1 クラフト インターフェイス
17-72
 - MRC-12 ファイバクリップ 18-3
 - MRC-2.5G-12 ファイバクリップ 18-3
 - TCC2/TCC2P カード 20-25
 - アース 1-11
 - アラーム ケーブル 20-16
 - イーサネット カード 2-12, 17-33
 - 共通コントロール カード 2-2
 - クロスコネクタ カード 20-28
 - 公開鍵セキュリティ証明書 21-1
 - 前面扉 2-24
 - タイミング線 20-18
 - 電気回路カード 2-10?2-11
 - 電源 1-11
 - 同軸ケーブル 20-21
 - 光カードおよびコネクタ 2-7?2-9
 - 光ファイバ ケーブル 2-18, 17-19, 17-34, 20-35,
20-39
 - ファイバブーツ 17-37
 - ファントレイ アセンブリ 1-13
 - フィルタ カード 2-16
 - ブランク 前面プレート 2-17
 - インストール ウィザード 21-20, 21-24
 - インターフェイスポートを参照
 - インベントリ、表示 A-13
 - インポート
 - Cisco TransportPlanner コンフィギュレーション
ファイルのインポート 20-85
 - ネットワーク要素のデフォルト値 15-32
- う
 - 受け入れテスト
 - 2 ファイバ MS-SPRing 5-17
 - 4 ファイバ MS-SPRing 5-20
 - SNCP 5-29
 - 開放端 SNCP 5-42
 - ポイントツーポイント ネットワークのターン
アップ 5-6
 - リニア ADM ネットワーク 5-11
- え
 - エア フィルタ
 - 検査 15-2
 - 交換 15-2
 - 要件 1-13
 - エア フィルタのメンテナンス 15-2
 - エクスポート
 - CTC データ 18-41
 - ツールバーを使用 A-5
 - ネットワーク要素のデフォルト値 15-34
 - エリア範囲テーブル (OSPF) 19-65
 - エンドシステム *ES* を参照
- お
 - オーダーワイヤ
 - 削除 17-28
 - 設定変更 19-8
 - プロビジョニング 17-78
 - オーバーヘッド回線
 - 削除 17-28
 - 作成 6-113

- 変更と削除 7-6
 - メニュー オプション A-7
- オフィス アースの接続 17-14
- オフィス電源
 - 接続 17-16
 - 投入と確認 17-18
- オフィス電源の投入 17-18
- オフロード
 - 監査証跡レコード 15-15
 - 診断ファイル 15-16
- オンライン ヘルプを使用 A-8

- か
- カード
 - CLEI コード A-13
 - E シリーズ イーサネット カードも参照
 - G シリーズ イーサネット カードも参照
 - Line Terminating Equipment 18-20
 - ML シリーズ イーサネット カードのモードのプロ
ビジョニング 19-11
 - ML シリーズ イーサネット カードも参照
 - アップグレード 12-1?12-14
 - アラーム プロファイルの適用 18-18
 - カードの保護も参照
 - 共通コントロール カードも参照
 - 個々のカード名も参照
 - サービス状態の変更 10-8, A-13
 - 削除 2-23, 18-82
 - シリアル番号 A-13
 - スロットの互換性 2-4
 - 設定変更 10-1?10-10
 - 電気回路カードも参照
 - 取り付けの確認 4-2
 - 取り外しおよび取り付け 2-23
 - 部品番号 A-13
 - ポートをインサービスまたはアウト オブ サービス
にする 19-12
 - リセット 15-19, 17-33
 - リビジョン番号 A-13
- カード保護
 - 1+1 光カード保護も参照
 - 1:1 電気回路カード保護も参照
 - 1:N カード保護も参照
 - 保護グループの削除 11-6
 - 保護グループの作成 4-12
 - 保護グループの変更 11-6
- 開始
 - MS-SPRing 強制リング切り替え 20-3
 - MS-SPRing 手動リング切り替え 20-2
 - MS-SPRing スパンのロックアウト 19-99
 - SNCP の強制切り替え 18-87
 - 外部切り替えコマンド 15-17
 - 電気的な保護切り替え 17-36
 - 光保護切り替え 17-35
- 回線
 - IEEE 802.17 RPR の表示 7-16
 - SNCP 回線パス セレクタの編集 19-35
 - SNCP のプロビジョニング 19-20
 - User Data Channel 19-10
 - VCAT 回線も参照
 - アラームの表示 9-5
 - イーサネットも参照
 - 回線状態の変更 19-31
 - 回線のステータス 20-82
 - 開放端 SNCP の作成 6-126
 - クロスコネクタ回線も参照
 - 検索 18-27
 - 検索と表示 7-2
 - 高次回線も参照
 - 再設定 7-13
 - 削除 17-23
 - 始点および終点のオプション 6-4, 6-5
 - 始点、説明 6-3
 - 自動ルーティング、説明 6-3
 - 終点、説明 6-3
 - 修復 17-27
 - 手動ルーティング、説明 6-3
 - 状態 20-84
 - 情報の表示 20-81
 - ショートカットによるプロビジョニング A-11
 - スパンにおける表示 19-30
 - スパンのアップグレード A-12
 - 中断なしでのトラフィックの再ルーティング回
線、ブリッジ、およびロールを参照
 - 低次 VC3 のプロビジョニング 20-10
 - 低次回線も参照
 - 低次集約ポイント Low-Order Aggregation Point を
参照
 - 低次トンネルも参照
 - デュアル ロール 19-47
 - 電源切断手順 16-2
 - 名前の編集 19-32

- ノードの追加 A-11
- ノード名の変更による影響 15-11
- パススルーの確認 20-62
- 半回線の作成 6-78, 6-80
- 表示のフィルタ処理 19-74
- 複数ドロップ 6-18, 6-31, 6-44
- ブリッジおよびロール 7-12
- 変更と削除 7-5
- ポートマップ モードの E シリーズ カード用に作成 6-86
- 保護タイプ 20-82
- マージ 7-14
- メニュー オプション A-7
- モニタ 7-7
- リングを対象にしたテスト回線 6-121
- ロール 19-36, 19-39, 19-41, 19-45, 19-47
- ロールのキャンセル 19-50
- ロールの削除 19-50
- 回線ノード、アイコン A-4
- 回線の再作成 7-13
- 回線の再設定 7-13
- 回線のマージ 7-14
- 外部アラーム AIC-I カードを参照
- 外部切り替えコマンド
 - 1+1 ポートでの Force スイッチの開始 19-97
 - 4 ファイバ MS-SPRing スパンの負荷テスト 17-91
 - MS-SPRing 強制切り替えのクリア 18-85
 - MS-SPRing 強制リング切り替えの開始 20-3
 - MS-SPRing 手動リング切り替えの開始 20-2
 - MS-SPRing 手動リング切り替えのクリア 19-51
 - MS-SPRing スパンのロックアウトの開始 19-99
 - MS-SPRing スパンのロックアウトのクリア 20-1
 - MS-SPRing の試験 19-18
 - SNCP 強制切り替えの開始 17-96, 18-88
 - SNCP 強制切り替えのクリア 18-88
 - 開始 15-17
 - クリア 15-17
 - トラフィック カードのロックアウト 19-2
 - ロックオンの開始 19-1
- 外部制御 AIC-I カードを参照
- 外部ノードの設定
 - DCC の変更 20-64
 - IP アドレスの指定 20-63, 20-64
 - MS-DCC によるイネーブル化 20-70
 - MS-DCC のプロビジョニング 20-70
 - MS-DCC の変更 20-63
 - RS-DCC によるイネーブル化 20-67
- 開放端 SNCPSNCP を参照
- 確認
 - 1+1 現用スロットの状態 18-80
 - MS-SPRing 拡張バイト マッピング 20-86
 - オフィス電源 17-18
 - カードの取り付け 4-2
 - シェルフ アセンブリ パッケージの内容 17-1
 - 縮小されたリングでのタイミング 18-86
 - ネットワークのターンアップ 6-6
 - パススルー回線 20-62
- 簡易ネットワーク タイム プロトコル SNTP を参照
- 監査証跡
 - オフロード 15-15
 - 表示 15-13
- 監査ログ、取得 18-84
- 管理
 - OSI 情報 15-10
 - TARP Data Cache 18-74
 - TL1 トンネル 3-9
 - VLAN 7-15
 - ドメインアイコン 18-44
 - 複数の ONS ノード 3-9
- き
- ギガビット インターフェイス コンバータ、GBIC を参照
- 機器
 - インベントリ A-13
 - カードカードタイプを参照
 - シスコが提供 1-3
 - 設置用 1-3
 - テスト用 1-4
 - ユーザの準備 1-4
- キャビネット コンパートメント前面扉を参照
- 強制切り替え
 - SNCP のクリア 18-88
 - 開始 18-87
 - 外部切り替えコマンドも参照
- 共通コントロールカード
 - TCC2 カードも参照
 - TCC2P カードも参照

- XC-VXC-10G カードも参照
- XC-VXL-10G カードも参照
- XC-VXL-2.5G カードも参照
- インストール 2-2
- 切り替えテスト 19-67
- 共有パケットリング 6-89
- 切り替え
 - TDM と DWDM のネットワーク ビュー間 20-87
 - 外部切り替えコマンドも参照
 - 自動保護切り替えも参照
 - ノード タイミング基準 20-80
- く
- クラフト ピン接続、配線 1-17
- クリア
 - MS-SPRing 強制切り替え 18-85
 - MS-SPRing 手動リング切り替え 19-51
 - MS-SPRing スパンのロックアウト 20-1
 - SNCP の強制切り替え 18-88
 - 外部切り替えコマンド 15-17
 - 切り替えたノードのタイミング基準 20-80
 - 再初期化ツールの使用によるデータベース 19-54, 19-56
 - すべての PM しきい値 19-89
 - 選択した PM のカウント 21-40
 - ロック オンまたはロック アウト 19-3
- クローズ
 - CTC A-5
 - FMEC カバー 1-20
- クロスコネクト
 - E シリーズ 6-105
 - E シリーズ シングルカード EtherSwitch 6-96
 - E シリーズ マルチカード EtherSwitch 6-99
 - G シリーズ 6-105
 - ロール 19-45, 19-47
- け
- 警告
 - 各国語 xxiv
 - 設置用 1-2
 - 経度、設定 4-5
 - ゲートウェイの設定、プロビジョニング 19-61
- ケーブル
 - CAT-5、LAN ケーブルを参照
 - FMEC でのケーブルの取り付け 1-18
 - LAN ケーブルの取り付け 17-72, 20-19
 - PC から ONS 15454 SDH への接続 17-41
 - アラーム ケーブルの取り付け 20-16
 - シスコが提供するモデル 1-3
 - 電気回路ケーブルの配線 1-19
 - 同軸 20-21
 - パッチ 5-7
 - 光ファイバ、取り付け 2-18
 - ファイバも参照
- 検査
 - エアー フィルタ 15-2
 - シェルフ アセンブリ 1-5, 17-2
 - シェルフの取り付けおよび接続 17-28
- 検索 7-2
 - 回線 18-27
 - ネットワーク上のアラームと状態 19-99
- 検査、アダプタとコネクタ 19-4
- こ
- 公開鍵セキュリティ証明書のインストール 21-1
- 交換
 - カード 2-23
 - クロスコネクトカード 15-25?15-26
 - 再使用可能なエアー フィルタ 15-2
 - ファントレイ アセンブリ 15-27
- 工具、設置用 1-3, 1-4
- 高次回線
 - 作成 6-63, 6-68, 6-72
 - テスト 6-76
 - プロビジョニング 17-99, 17-100
- 工場出荷時の設定ネットワーク要素のデフォルト値を参照
- コネクタ、光カードに取り付け 2-7?2-9
- コンフィギュレーションネットワークを参照
- さ
- サードパーティ製の機器
 - DCC トンネルの作成 20-65
 - MS-SPRing の K3 バイトへの再マップ 20-76
 - 開放端 SNCP のプロビジョニング 5-40

- サードパーティ ネットワーク上での TLI トンネルの作成 3-9
- サーバ追跡
 - 削除 19-6
 - 作成 6-124
- サービスの状態
 - PPM 10-8
 - VCAT メンバーの修正 17-74
 - カード 10-8, A-13
 - カードの状態遷移 10-8
 - 機器 A-13
- 再初期化ツール 15-11
 - UNIX 19-56
 - Windows 19-54
- 再初期化ツールの使用によるソフトウェアのアップロード 19-54, 19-56
- 削除
 - CTC を使用した TL1 トンネル 21-61
 - DCC 終端 11-7
 - DCC トンネル 17-28
 - IP カプセル化トンネル 17-28
 - IP-over-CLNS トンネル 18-72
 - MS-DCC 終端 20-67
 - PPM 10-9
 - RMON しきい値 8-6, 8-10, 21-28, 21-48
 - RS-DCC 終端 20-64
 - SNMP トラップ宛先 18-57
 - VCAT 回線のメンバー 17-71
 - VLAN 7-15, 17-30, 19-59
 - アラーム重大度プロファイル 21-12
 - オーダーワイヤ 17-28
 - オーバーヘッド回線 7-6, 17-28
 - カード 18-82
 - カードの保護設定 11-6
 - 回線 7-5, 17-23
 - クリアされたアラーム 9-4
 - サーバ追跡 19-6
 - スタティック ルート 18-37
 - 単一ノードから MS-SPRing を 18-87
 - 単一ノードのユーザ 18-54
 - ドメイン A-9
 - ノード 17-30, 17-46, A-5
 - ファイアウォール トンネル 18-1
 - 複数ノードでのユーザ 18-55
 - プロキシ トンネル 18-1
 - プロビジョニング可能なパッチコード 11-7
 - 保護グループ 18-51
 - マルチレート PPM 18-30
 - ロール 19-50
- 作成
 - 1+1 保護グループ 17-65
 - 1:1 保護 17-63
 - 1:N 保護グループ 17-64
 - 2 ファイバ MS-SPRing 21-49, 21-51
 - 4 ファイバ MS-SPRing 17-12, 17-25
 - CTC を使用した TL1 トンネル 21-58
 - DCC トンネル 20-65
 - E シリーズ EtherSwitch 回線 6-82
 - E シリーズ カードを使用したハブアンドスポークイーサネット構成 6-93
 - E シリーズ シングルカード EtherSwitch クロスコネクト、手動 6-96
 - E シリーズ ポートマップ カード用の回線 6-86
 - E シリーズ マルチカード EtherSwitch クロスコネクト、手動 6-99
 - E シリーズの共有パケット リング イーサネット回線 6-89
 - G シリーズまたは E シリーズのポートマップ カード用のクロスコネクト、手動 6-105
 - IP カプセル化トンネル 17-3
 - IP-over-CLNS トンネル 18-66
 - J1 パストレースまたは J2 パストレース 7-11
 - MS-SPRing 5-16, 19-52
 - MS-SPRing のスタティック ルート 14-4
 - RMON しきい値 8-6, 8-10, 21-31, 21-45
 - SNCP のスタティック ルート 14-12
 - STM テスト回線 6-121
 - TL1 トンネル 3-9
 - TL1 トンネル、CTC ランチャ 21-56
 - User Data Channel 回線 19-10
 - VCAT 回線 6-114, 6-118
 - VLAN 7-15, 19-53
 - アラーム重大度プロファイル 9-8, 21-6
 - イーサネット回線用 VLAN 6-94, 6-98
 - オーバーヘッド回線 6-113
 - 開放端 SNCP 回線 6-126
 - 高次回線 6-63, 6-68, 6-72
 - サーバ追跡 6-124
 - 自動ルーティングされた VCAT 回線 6-114
 - 手動ルーティングされた VCAT 回線 6-118
 - 新規ユーザ 17-66, 17-67
 - スタティック ルート 17-56
 - 低次回線 6-8, 6-14, 6-18, 6-22, 6-27, 6-31, 6-35, 6-40, 6-44

- 低次集約ポイント 6-57
- 低次トンネル 6-49, 6-52
- ドメインアイコン 18-43
- 半回線 6-78, 6-80
- ポート グルーピング用の低次パス トンネルの作成 6-54
- 保護グループ 4-12
- ログイン ノード グループ 17-52
- 論理ネットワーク マップ 5-50
- サブネット マスク
 - Windows の設定 17-39
 - プロビジョニング 4-8, 17-57, 19-61
- サマータイム 4-6

- し**
- シェルフ
 - 受け入れテスト 1-21
 - オフィス アースの接続 17-14
 - オフィス電源の接続 17-16
 - 開梱 1-5, 17-1
 - 確認 17-1
 - 検査 1-5, 17-2, 17-28
 - ターンアップ 4-124-17
 - 扉 1-8
 - 取り付け 17-5, 17-7, 17-8
 - 連絡先の変更 18-34
- シェルフ アセンブリの開梱 1-5, 17-1
- 時間
 - 時間の変更 18-35
 - 設定 4-6
- 時間帯
 - アラームと状態の表示に使用 18-15
 - 選択 4-6
- 時間の設定 4-6
- しきい値
 - FC_MR-4 カード 8-10, 20-57, 20-59, 20-61, 21-30
 - FC_MR-4 カードの変更 10-7
 - STM-64、MRC-12、および MRC-2.5G-12 カードの光設定の変更 18-13
 - すべての PM のクリア 19-89
 - 電力モニタ、設定 4-7
 - 光カードの変更 10-3
- シスコ トランスポート コントローラ CTC を参照
- システムネットワークを参照
- 事前プロビジョニング
 - PPM 18-8
 - SFP/XFP 18-8
 - スロット 21-36
 - プロビジョニングも参照
- 自動保護切り替え
 - 光トラフィックの双方向 17-66
 - 復元切り替え 17-64
- 自動ホスト検出 17-43
- 自動ルーティング 19-41
- 社内 LAN 3-6
- 従属
 - MS-SPRing、MS-SPRing から 5-48
 - MS-SPRing、SNCP から 5-47
 - SNCP、MS-SPRing から 5-45
- 終端ノード
 - CTC アイコン A-4
- 受信レベル 2-19
- 手動ルーティング 19-45
- 状態
 - 時間帯で表示 18-15
 - ネットワークをチェック 19-99
 - 表示 9-3, 18-16
 - フィルタ パラメータの変更 21-14
 - 履歴の表示 21-4
- 診断ファイル、オフロード 15-16

- す**
- ズーム A-6
- スタティック ルート
 - 削除 18-37
 - 作成 17-56
 - 変更 18-36
- ストレート型ケーブル LAN ケーブルを参照
- スパニング ツリー プロトコル
 - 回線のブロッキング 6-84
 - 情報の表示 17-20
- スパン
 - 4 ファイバ MS-SPRing の負荷テスト 17-91
 - SNCP の保護切り替え A-11
 - アップグレード 12-12-12-14, 19-98
 - 色の変更 19-33
 - 回線の表示 19-30
 - 切り替え 17-93, 17-96
 - スパン情報の表示 A-9
 - 復元 (MS-SPRing) 17-13, 17-25

- プロパティの表示 A-11
- スパンアップグレード ウィザード
 - 開始 12-8
 - 回復 12-12
 - 元に戻す (ダウングレード) 12-12
- スプリッタ保護 4-13
- スロット
 - 1+1 現用スロットがアクティブであることの確認 18-80
 - AIC-I カード 4-2
 - TCC2 と TCC2P 4-2
 - アラーム カウントの表示 9-6
 - クロスコネクタ 4-2
 - 事前プロビジョニング 21-36
- せ
- 清掃
 - CLETOP によるコネクタ 19-5
 - アダプタとコネクタ、アルコールとドライ ワイブを使用 19-4
 - ファイバアダプタ 19-5
 - ファイバコネクタ 15-18
- セキュア モード
 - IP 設定の変更 19-82
 - MAC アドレス 19-61
- セキュリティ
 - RADIUS 18-5
 - 設定 4-4
 - 設定の変更 11-9
 - ノードセキュリティのロック 17-81
 - ノードのセキュリティ モードのイネーブル化 17-79
 - ノードのためのディセーブル化 17-83
 - パスワードおよびレベルの変更 18-53, 18-54
 - プロビジョニング ユーザへのスーパーユーザ権限の付与 18-84
- 接続
 - オフィス アース 17-14
 - オフィス電源 17-16
- 設置
 - 受け入れテスト 1-21
 - 空のシェルフ 1-6
 - 警告 1-2
 - 工具 1-3
 - 電源および信号 FMEC 1-9
- 設定
 - CTC Alerts ダイアログボックス 17-21
 - CTC、Windows Vista 21-62
 - IP アドレス、LCD を使用 17-54
 - OSPF プロトコル 19-64
 - RIP 19-66
 - クラフト接続 17-38, 17-41, 17-43, 20-11
 - 初期設定、ツールバーを使用 A-5
 - タイミング 17-59, 17-62
 - デフォルトルータ、LCD を使用 17-54
 - 電力モニタしきい値 4-7
 - ネットワーク マスク、LCD を使用 17-54
 - ノード名、日付、時刻、連絡先の情報 4-5
 - ノード、RADIUS 認証 18-5
- 前面扉
 - 交換 2-24
 - 取り外し 1-8, 15-3, 17-11
 - 開く 1-8, 17-10
- そ
- 相互運用性、Cisco MDS 9000 スイッチ 20-58
- 送信レベル 2-19
- ソーク タイマー、ML シリーズ カード 10-10
- ソフトウェア
 - CTC も参照
 - 確認、バージョン 17-50
 - 互換性のないアラーム 17-50
 - 設定 3-1
 - バージョンのミスマッチ、複数のノード間 17-50
- た
- ターミナル システムポイントツーポイント型を参照
- ターンアップ
 - ネットワークの確認 6-6
 - ノードについて確認 5-3
- ダイアログボックス、非表示にする 19-84
- タイミング
 - BITSBITS を参照
 - MIC-C/T/P ケーブルの取り付け 20-18
 - 外部 17-59
 - 縮小されたリングでのタイミングの確認 18-86
 - 手動または強制基準切り替えのクリア 20-80

- 設定 4-11, 17-59
 - ソースの変更 18-51
 - 内部 17-62
 - ノードクロックの設定 4-6
 - ノードのタイミング基準の切り替え 20-80
 - ノードのタイミング基準の変更 15-21
 - 配線接続 1-17
 - ライン 17-59
 - レポート情報 15-22?15-25
 - レポートの表示 15-22
- つ
- 追加
- MS-SPRing ノード 14-2
 - SNCP ノード 14-12
 - TARP Manual Adjacency Table エントリ 18-63
 - VCAT 回線へのメンバー 17-68
 - スタティック TID/NSAP エントリ、TDC へ 18-61
 - ノード、回線へ A-11
 - ノード、現在のセッションまたはログイングループへ 17-53
 - ノード、ツールバーを使用 A-5
 - ノード、ドメインへ 18-44
 - ノード、リニア ADM へ 14-17, 14-19
- ツールバーにあるボタン
- 印刷 A-5
 - エクスポート A-5
 - 親ビューへ移動 A-6
 - 初期設定 A-5
 - ズームイン A-6
 - セッションの終了 A-5
 - 選択したオブジェクトのビューへ移動 A-6
 - 選択領域のズームイン A-6
 - その他のノードへ移動 A-6
 - 次の CTC ビューへ進む A-6
 - ネットワーク ビューへ移動 A-6
 - ノードの削除 A-5
 - ノードの追加 A-5
 - ノードのロック A-5
 - ホーム ビューへ移動 A-6
 - 前の CTC ビューに戻る A-6
- て
- 低次回線
- VC11 の作成 6-8, 6-14
 - VC11 のプロビジョニング 18-75, 18-77
 - VC12 の作成 6-22, 6-27
 - VC12 のプロビジョニング 17-2, 17-96
 - VC3 のプロビジョニング 17-98
 - 作成 6-18, 6-31, 6-35, 6-40, 6-57
 - テスト 6-61
 - ドロップが複数個ある双方向低次 VC3 回線の作成 6-44
- 低次集約ポイント
- VC11 回線 6-12, 6-16, 6-20
 - VC12 回線 6-26, 6-29, 6-33
 - VC3 回線 6-38, 6-42, 6-46
 - 作成 6-57
 - 説明 6-3
- 低次トンネル
- 自動ルーティング 6-49
 - 手動ルーティング 6-52
 - 説明 6-3
 - プロビジョニング 19-21
 - ポート グルーピング 6-54
 - ポート グルーピング用の低次パス トンネルの作成 6-54
- ディセーブル化
- AutoPM 8-10
 - IPPM 18-20
 - OSPF 18-38
 - アラーム フィルタリング 9-9, 19-29
 - アラームの抑制 9-10
 - ダイアログボックス表示 19-84
 - ノードのセキュリティ モード 17-83
 - プロキシ サービス 17-47, 17-48
- データベース
- 完全復元 15-9
 - クリア 15-11
 - ノードおよびカードのデフォルト設定の復元 15-11
 - バックアップ 15-6
 - 復元 15-7, 18-84
 - 復元されないパラメータ 15-11
 - データベースのバックアップ 15-6
- 適用
- アラーム プロファイルをポートに 21-10
 - カードへのアラーム プロファイル 18-18

- ノードへのアラーム プロファイル 18-18
- テスト
 - 1+1 光保護 17-84
 - 2 ファイバ MS-SPRing 5-17
 - 4 ファイバ MS-SPRing 5-20, 17-91, 17-93
 - E シリーズイーサネットカイセン 6-103
 - G シリーズ回線 6-111
 - MS-SPRing の切り替え 17-87
 - MS-SPRing、トラフィック切り替えなし 19-18
 - SNCP 受け入れ 5-29
 - SNCP の保護切り替え 17-95
 - TCC2/TCC2P アクティブ/スタンバイ切り替え 19-67
 - 開放端 SNCP のセットアップ 5-42
 - クロスコネクタカードのサイド切り替え 19-69
 - 高次回線 6-76
 - シェルフ取り付け 1-21
 - 使用機器 1-4
 - 低次回線 6-61
 - ポイントツーポイント ネットワークのセットアップ 5-6
 - リニア ADM のセットアップ 5-11
- テスト回線、作成 6-121
- デフォルト ルータ
 - IP アドレスの入力 19-61
 - LCD による設定 17-54
 - 初期プロビジョニング 4-8
 - 変更、LCD を使用 17-54
- 電圧の測定 17-29
- 電気回路カード
 - DS3i-N-12 カードを 1:1 から 1:N 保護へアップグレード 10-5
 - FMEC でのケーブルの取り付け 1-18
 - インストール 2-10?2-11
 - 回線の設定変更としきい値の変更 10-2, 20-41?20-52, 20-71?20-75
 - 個々のカード名も参照
 - 取り付け時の LED の動作 2-11
 - 取り付けの確認 4-3
 - パフォーマンス モニタリング 8-3
 - 保護 17-63
 - リセット 15-19, 17-33
- 電氣的な保護切り替え、開始 17-36
- 電源
 - 確認 17-18
 - シェルフへの接続 17-16
 - 装置 1-11
 - 電圧の測定 17-29
 - ノードの電源切断 16-1
 - 電力モニタしきい値、設定 4-7
- と
- 同軸ケーブル、取り付け 20-21
- 扉前面扉を参照
- トポロジアップグレード
 - SNCP 回線の自動ルーティング 21-53
 - SNCP 回線の手動ルーティング 21-52
 - メニュー オプション A-7
- トポロジホスト (VLAN)、管理 7-15
- ドメイン
 - NE デフォルト値を変更してローカルを許可 18-43
 - 移動 18-44
 - 管理 18-44
 - 削除 A-9
 - 作成 18-43, A-9
 - ドメイン ビューの内容 A-2
 - 取り外し 18-45
 - 名前変更 18-44, A-9
 - ノード数の表示 A-10
 - ノードの外部への移動 18-44
 - ノードの追加 18-44
 - 開く 18-45, A-9
- トラップ SNMP を参照
- トラフィック
 - カード電気回路カードも参照
 - カード光カードを参照
 - 回線も参照
- トラフィック モニタリング
 - Performance Monitoring も参照
 - STM-N ポートでの J1 パストレースのプロビジョニング 18-33
 - パストレースの作成 7-11
 - モニタ回線の作成 7-7
- トラフィックのブリッジおよびロール回線およびロールを参照
- トランスポンダ モード、G シリーズ ポートのプロビジョニング 6-108
- トランスポンダ TXP カードを参照
- 取り外し
 - FMEC カバー 20-15
 - GBIC、SFP、または XFP デバイス 20-34

- MS-SPRing ノード 14-8
 - SNCP ノード 14-15
 - TARP Manual Adjacency Table エントリ 18-67
 - インサービスのリニア ADM ノード 14-22
 - カード 2-23
 - キャビネットの前面扉 17-11
 - スタティック TID/NSAP エントリ、TDC から 18-62
 - ドメイン 18-45
 - ノードの電源 16-1
 - パススルー接続 17-73
 - ドロップ
 - 高次回線の複数ドロップ 6-72
 - 低次回線の複数ドロップ 6-18, 6-31, 6-44
 - トンネル
 - DCC、DCC トンネルを参照
 - IP カプセル化トンネル IP カプセル化トンネルを参照
 - IP-over-CLNSIP-over-CLNS トンネルを参照
 - TL1、TL1 トンネルを参照
 - 低次、低次トンネルを参照
 - ファイアウォールファイアウォール トンネルを参照
 - プロキシプロキシ トンネルを参照
- な
- ナビゲート、ツールバーを使用 A-6
- ね
- ネットワーク
 - CTC アクセスの変更 11-3
 - CTC ビューのカスタマイズ 11-5
 - MS-SPRingMS-SPRing を参照
 - アラームと状態のチェック 19-99
 - 回線の構築 6-1, 7-1
 - 基本情報の設定 19-60
 - 構成の変換 13-1?13-24
 - サードパーティ製 3-9
 - 自動検出のディセーブル化 17-51
 - ネットワークのターンアップの確認 6-6
 - ポイントツーポイント型ポイントツーポイント型を参照
 - リニア ADM、リニア ADM を参照
 - ネットワーク アクセス、設定 4-8
 - ネットワーク ビュー
 - DWDM A-8
 - TDM A-8
 - TDM と DWDM との切り替え 20-87
 - カスタマイズ 11-5
 - カスタム背景マップの使用 19-83
 - 実行できる作業 A-11
 - ショートカット A-11
 - 新規ノードの追加に伴う回線の更新 A-11
 - 新規ユーザの作成 17-67
 - スパンのアップグレード A-12
 - 背景の変更 18-38, 19-83
 - マップへのノードの追加 ドメインを参照
 - リンクのエンド (ドロップ) ポイントの表示 A-11
 - リンクの統合 19-13
 - ネットワーク マスク、LCD による設定 17-54
 - ネットワーク マップ
 - 作成 5-50
 - 表示のフィルタ処理 A-8
 - ネットワーク検出中、アップグレード 3-8
 - ネットワーク要素のデフォルト値
 - インポート 15-32
 - エクスポート 15-34
 - 復元 15-11
 - 編集 15-30
- の
- ノード
 - IP アドレスの修復 17-27
 - MS-SPRing からの削除 14-8
 - MS-SPRing ノード ID の変更 17-21
 - MS-SPRing の作成 19-52
 - MS-SPRing の追加 14-2
 - MS-SPRing のプロビジョニング 5-14
 - RADIUS 認証の設定 18-5
 - SNCP からの削除 14-15
 - SNCP のプロビジョニング 5-27
 - SNCP への追加 14-12
 - アクセス権限の変更 21-29
 - アラーム カウントの表示 9-6
 - アラーム プロファイルの適用 18-18
 - インサービス、リニア ADM からの削除 14-22
 - ウィザードによるリニア ADM への追加 14-19
 - 現在のセッションへの追加 17-53

- 工場出荷時の設定への復元 15-11
 - 削除 17-30, 17-46, A-5
 - セキュリティ ポリシーの変更 19-85, 19-86
 - セキュリティ モードのイネーブル化 17-79
 - セキュリティ モードのディセーブル化 17-83
 - セキュリティのロック 17-81
 - ターンアップ 4-1?4-17
 - ターンアップの確認 5-3
 - タイミング基準切り替えのクリア 20-80
 - タイミング ソースの変更 18-51
 - タイミング基準の切り替え 20-80
 - タイミングの変更 11-8, 15-21
 - 追加、ツールバーを使用 A-5
 - 電源切断 16-1
 - 名前、日付、時刻、連絡先の情報の変更 18-34
 - ノード管理情報の変更 11-2
 - ノード名の変更 18-34
 - 日付、時刻、連絡先情報、設定 4-5
 - 複数の管理 3-9
 - メンテナンス 15-1?15-34
 - ユーザの削除 18-54, 18-55
 - リニア ADM への追加 14-17
 - ノード ビュー
 - IP 設定のプロビジョニング 19-60
 - タイマーの設定 17-59
 - ビューの変更 A-10
 - ユーザの作成 4-4, 17-66
- は**
- ハードウェアの冗長性テスト、カードおよび切り替えテストを参照
 - 配線
 - SNCP 回線 (手動) トポロジ アップグレード 21-52, 21-53
 - 電気回路ケーブル 1-19
 - ハイブリッド ノード、アイコン A-3
 - 背面カバー 1-20
 - パス トレース
 - J1 パス トレースを参照
 - J2 パス トレースを参照
 - 作成 7-11
 - プロビジョニング 20-77
 - パススルー
 - 回線、確認 20-62
 - 接続、取り外し 17-73
 - パスワード
 - 作成 17-66, 17-67
 - 変更 18-53, 18-55
 - ログイン 17-50
 - ハブ ノード、アイコン A-3
 - ハブアンドスポーク 6-93
- ひ**
- 非 ONS ノード、IP アドレスの設定 20-63, 20-64
 - 光カード
 - PM パラメータの表示 21-2
 - インストール 2-7?2-9
 - 回線の設定変更としきい値の変更 10-3, 18-10, 20-52
 - 減衰量 2-19
 - 交換 19-58
 - 個々のカード名も参照
 - 取り付け時の LED の動作 2-9
 - 取り付けの確認 4-3
 - パス トレース 19-78
 - パフォーマンス モニタリング 8-7
 - 光しきい値の変更 18-13
 - ファイバブーツの取り付け 17-37
 - ファイバの取り付け 2-18, 17-34
 - ファイバのルーティング 2-21
 - 保護 17-65
 - リセット 15-19, 17-33
 - 光送受信レベル 2-19
 - 光保護切り替え、開始 17-35
 - 日付
 - 設定変更 18-35
 - デフォルト 17-17
 - プロビジョニング 4-6
 - ビュー
 - 概要 A-2
 - ショートカット A-10
 - ネットワーク ビューで行うアクション A-11
 - ネットワーク ビューのショートカット A-11
 - ノード ビューのショートカット A-10
 - ビューの切り替え A-2
 - マウスによる変更 A-9
 - ヒューズ アラーム パネル
 - 100 アンペア 1-12, 17-5, 17-7, 17-18
 - 80 アンペア 17-18

- 表
- カラム順序の変更 A-12
 - カラムのサイズ変更 A-12
 - ソート A-12
 - データの印刷 18-39
 - テーブルのリストも参照
 - 表示されていないカラムの表示 A-12
 - フォーマットの変更 A-12
- 表示
- CE シリーズ カードの PM パラメータ 18-78, 18-81, 18-83
 - E シリーズ イーサネット カードのメンテナンス情報 15-21
 - ES-IS RIB 18-73
 - FC_MR-4 カードの PM パラメータ 21-41, 21-42, 21-43
 - G シリーズ イーサネット カードのメンテナンス情報 15-20
 - IEEE 802.17 RPR 回線 7-16
 - IS-IS RIB 18-73
 - LCD のアラーム カウント 9-6
 - LCD のポート ステータス 21-19
 - ML シリーズ RPR スパン PM パラメータ 19-29
 - ML シリーズの PM パラメータ 20-54, 20-55
 - MS-SPRing スケルチ テーブル 20-84
 - OSI 情報 15-10
 - TL1 トンネルでの CTC 21-59
 - アクティブ ログイン 18-7
 - アラーム 17-76, 18-15
 - アラームの影響を受ける回線 9-5
 - アラームまたはイベントの履歴 21-4
 - アラーム、履歴、イベント、状態 9-3
 - イーサネット MAC アドレス テーブル 20-5
 - イーサネット PM パラメータ 19-70, 19-71, 19-72
 - イーサネット トランク 使用状況 20-5
 - インベントリ A-13
 - 遠端側の PM カウント 18-25
 - 回線 7-2
 - 回線情報 20-81
 - 監査証跡レコード 15-13
 - 近端側の PM カウント 18-25
 - クロスコネクタ カードのリソース 使用状況 7-3
 - 時間帯に合わせて表示した状態 18-15
 - 状態 18-16
 - ステータス バー A-6
 - スパニング ツリーの情報 17-20
 - スパン プロパティ A-11
 - スパンにおける回線 19-30
 - タイミング レポート 15-22
 - ツールバー A-6
 - ドメインのコンテンツ 18-45
 - ネットワーク マップに表示された従属 MS-SPRing 5-49
 - 光カード PM パラメータ 21-2
- 表示、ビューを参照
- 開く
- FMEC カバー 20-14
 - キャビネットの前面扉 17-10
 - ドメイン A-9
 - ピン付き六角 (アレン) キー 1-8, 2-25
- ふ
- ファイアウォール トンネル
- 削除 18-1
 - プロビジョニング 17-86
- ファイアウォール、アクセス設定 4-10
- ファイバ
- GBIC への取り付け 20-31
 - アダプタの検査 19-4
 - アダプタの清掃 19-4
 - ケーブルのルーティング 2-21
 - ケーブルを参照
 - コネクタの検査 19-4
 - コネクタの清掃 15-18, 19-4
 - 光カードへの取り付け 2-18, 17-19
 - ファイバブーツの取り付け 17-37
 - 方向反転可能なファイバ ガイド 2-22
- ファイバアダプタ、清掃 19-5
- ファイバクリップ 2-21, 18-3
- ファイバブーツの取り付け 17-37
- ファイバ接続
- LGX インターフェイスへの取り付け 17-34
 - MS-SPRing 20-39
 - MS-SPRing への SNCP の従属 5-45
 - SNCP 20-35
 - SNCP DRI 20-37
 - SNCP の確認 5-27
 - SNCP への MS-SPRing の従属 5-47
 - リニア構成 17-19

- ファントレイ アセンブリ
 - アラームの原因 15-27
 - インストール 1-13
 - 交換 15-27
 - 取り外し 15-3
- ファントレイ エアー フィルタエアー フィルタを参照
- ファイラー カード、取り付け 2-16
- フィルタリング
 - アラーム 19-28
 - アラーム、重大度別 9-9
 - 回線表示 19-74
 - ディセーブル化、アラーム 19-29
 - ネットワーク マップ上のリンク クラス A-8
 - パラメータの変更 21-14
- 復元
 - データベース 15-7, 18-84
 - ノードの工場出荷時の設定 15-11
- 復元切り替え
 - 電気回路の保護 17-64, 17-65
 - 光の保護 17-66
- ブラウザ、必須バージョン 3-2
- プラグインユニットカードを参照
- ブラック前面プレート、取り付け 2-17
- プリファレンス
 - SOCKS サーバの指定 19-89
- ブレードカードを参照
- フロー制御水準点のプロビジョニング 20-56
- プロキシ サーバ、プロビジョニング 14-5, 14-13, 19-61
- プロキシ サービス
 - Internet Explorer によるディセーブル化 17-47
 - Netscape によるディセーブル化 17-48
- プロキシ トンネル
 - 削除 18-1
 - プロビジョニング 17-75
- プロトコル
 - NTP 4-5
 - OSPF/OSPF を参照
 - SNTP 4-5
 - STP スパニング ツリー プロトコルを参照
- プロビジョニング
 - CE シリーズ イーサネット カードの POS ポート 18-35
 - CE-1000-4 イーサネット ポート 19-9
 - CE-100T-8 イーサネット ポート 18-31
 - CE-MR-10 イーサネット ポート 18-31
 - E シリーズ イーサネット 19-21, 19-23, 19-57
 - G シリーズ イーサネット ポート 19-24, 20-56
 - G シリーズ ポート 6-108
 - IIOP リスナー ポート 17-57, 17-58
 - IP 設定 19-60
 - J1 パス トレース 18-33, 19-77
 - ML シリーズ イーサネット カードのモード 19-11
 - ML シリーズ カードのソーク タイマー 10-10
 - MS-DCC 終端 20-70
 - MS-SPRing ノード 5-14
 - MS-SPRing 半回線 20-6
 - MS-SPRing/SNCP DRI 5-36, 5-38
 - OSI 4-16, 18-58, 18-63, 18-64
 - OSI の変更 11-4
 - PPM 10-9
 - RS-DCC 終端 20-67
 - SNCP 5-27, 20-7
 - SNCP DRI 5-32
 - SNCP リング セレクタ 19-20
 - TARP 4-16, 18-59
 - VCAT 回線 17-22, 17-31, 19-91
 - オーダーワイヤ 17-78
 - 回線、ネットワーク ビューから A-11
 - 外部アラームおよび制御 9-11
 - 開放端 SNCP 5-40
 - 高次回線 17-99, 17-100
 - 事前プロビジョニングも参照
 - 従来型 MS-SPRing DRI 5-23
 - 資料作成 9-2
 - 低次 VC11 回線 18-75, 18-77
 - 低次 VC12 回線 17-96
 - 低次 VC12 回線ルート 17-2
 - 低次 VC3 回線 17-98, 20-10
 - 低次トンネル 19-21
 - 統合 MS-SPRing DRI 5-25
 - 統合 SNCP DRI 5-34
 - パス トレース 20-77
 - ファイアウォール トンネル 17-86
 - プロキシ トンネル 17-75
 - ポイントツーポイント ネットワーク 5-4
 - マルチレート PPM 18-28
 - マルチレート PPM の光回線レート 18-29
 - リニア ADM 5-9
- プロビジョニング可能なパッチコード
 - 削除 11-7
 - 変更 11-7

- へ
- ヘルプ、オンラインヘルプを参照
変換アップグレードを参照
変更
- 1+1 保護グループ 18-50
 - 1:1 保護 18-45
 - 1:N 保護グループ 18-47
 - AIC-I カードの設定 10-4
 - CTC ネットワーク アクセス 11-3
 - DCC 終端 11-7
 - DS3i-N-12 カードの回線としきい値設定 20-44
 - E1 カードの回線およびしきい値の設定 20-71
 - E3-12 カードの回線およびしきい値の設定 20-41
 - FC_MR-4 カードの PM パラメータしきい値 10-7
 - FC_MR-4 カードの回線設定 10-7
 - FC_MR-4 カードの設定 20-57, 20-59, 20-61, 21-30
 - IP 設定 19-82
 - JRE バージョン 21-4
 - JVM ヒープ サイズ 19-27
 - MIC-C/T/P ポートの IP 設定 17-82
 - MS-DCC 終端 20-63
 - MS-SPRing の ID または復元時間 13-23
 - MS-SPRing ノード ID 17-21
 - OSI プロビジョニング 11-4
 - OSI ルーティング モード 18-68
 - OSPF プロトコル 19-64
 - Performance Monitoring の表示 8-2
 - PPM 10-9
 - PPM のサービス状態 10-8
 - RIP 19-66
 - RS-DCC 終端 20-64
 - SNMP トラップ宛先 19-87
 - STM1E-12 カードの回線およびしきい値の設定 20-49
 - STM-64、MRC-12、および MRC-2.5G-12 カードの光しきい値 18-13
 - TARP 動作パラメータ 18-59
 - VCAT メンバーのサービス状態 17-74
 - アクティブ スパンおよびスタンバイ スパンの色 19-33
 - アラーム重大度フィルタ 9-9
 - アラーム履歴のセッション エントリの最大数 18-14
 - アラーム、状態、および履歴のフィルタ パラメータ 21-14
 - イーサネット PM カウントのリフレッシュ間隔 19-72
 - オーダーワイヤの設定 19-8
 - オーバーヘッド回線 7-6
 - カードのサービス状態 10-8
 - カードの設定 10-1?10-10
 - カードの保護設定 11-6
 - 回線 7-5
 - 回線状態 19-31
 - 外部アラーム 19-7
 - 外部制御 19-7
 - スタティック ルート 18-36
 - セキュリティ 11-9
 - デフォルトのネットワーク ビュー マップ 21-27
 - 電気回路カード回線およびしきい値の設定 20-41?20-54, 20-71?20-75
 - 電気回路カードの回線およびしきい値の設定 10-2
 - トンネル タイプ 17-26
 - ネットワーク ビューの背景色 18-38
 - ネットワーク ビュー背景マップ 19-83
 - ノードアクセス権限と PM クリア権限 21-29
 - ノードビューから別のビューへ A-10
 - ノード管理情報 11-2
 - ノードのセキュリティ ポリシー 19-85, 19-86
 - ノードの設定 11-1?11-10
 - ノードのタイミング 11-8, 15-21, 18-51
 - ノード名、日付、時刻、連絡先の情報 18-34
 - 光カード ALS 設定 19-16
 - 光カード回線およびしきい値の設定 20-52
 - 光カードの PM パラメータしきい値 10-3
 - 光カードの SDH しきい値の設定 20-52
 - 光カードの回線設定 10-3, 18-10
 - 光カードの設定 19-58
 - プロビジョニング パッチコード 11-7
 - 変更も参照
 - 法的免責事項 19-81
 - ポート サービスの状態 19-12
 - マルチレート PPM の光回線レート 18-30
 - ユーザ 11-9
 - ユーザのパスワードおよびセキュリティ 18-53, 18-54
- 編集
- CTC を使用した TL1 トンネル 21-60

- IP-over-CLNS トンネル 18-71
- OSI サブネットワーク ポイント オブ アタッチメント 18-70
- OSI ルータ設定 18-69
- SNCP DRI 回線ホールドオフ タイマー 19-76
- SNCP 回線パス セレクタ 19-35
- 回線名 19-32
- ネットワーク要素のデフォルト値 15-30

ほ

- ポインタ位置調整カウンタ
 - イネーブル化およびディセーブル化 18-20
 - 使用理由 18-20
- ポイントツーポイント型
 - アップグレード 13-2, 13-5, 13-7, 13-10, 13-13, 13-15
 - 受け入れテスト 5-6
 - プロビジョニング 5-4

ポート

- 1+1 保護のプロビジョニング 17-65
- CE-100T-8 18-31
- CE-MR-10 18-31
- E シリーズ イーサネット 19-21
- FC_MR-4 カードの設定変更 21-30
- G シリーズ イーサネット 6-108, 19-24
- IIOP リスナー ポート 17-57, 17-58
- LCD のステータス表示 21-19
- MIC-C/T/P の IP 設定修正 17-82
- SNMP のデフォルトの UDP ポート 19-88
- UDP 4-14
- アラーム カウントの表示 9-6
- アラーム プロファイルの適用 21-10
- オプティカルポートをインサービスまたはアウトオブサービスにする 19-12
- グルーピング用の低次パス トンネルの作成 6-54
- 名前の割り当て 20-8
- 保護 4-12

保護

- 1:1 保護から 1:N 保護への変換 10-5
- SDH トポロジも参照
- カードの保護も参照
- 切り替えの開始 17-35, 17-36
- 自動保護切り替えも参照
- 保護グループの作成 4-12

ま

- マックスポンダ MXP カードを参照
- マップ (ネットワーク) 19-83, 21-27
- マニュアル
 - 関連 xxiii
 - 構成 xxii
 - 対象読者 xxii
 - 表記法 xxiv
 - 目的 xxi

め

- メンバー、VCAT
 - サービス状態の変更 17-74
 - 削除 17-71
 - 追加 17-68

も

- モジュールカードを参照
- モニタ回線、作成 7-7
- モニタリング
 - FC_MR-4 カードおよびポート 8-9
 - MRC-N カードおよびポート 8-8
 - イーサネット カードおよびポート 8-5
 - 選択した信号の PM カウント 21-38
 - 電気回路カードおよびポート 8-3
 - パフォーマンス Performance Monitoring を参照
 - 光カードおよびポート 8-7

ゆ

- ユーザ
 - 削除 18-54, 18-55
 - 作成 17-66, 17-67
 - 設定 4-4
 - パスワードおよびセキュリティの変更 18-53, 18-54
 - パスワードまたはセキュリティ設定の変更 18-53
 - 変更 11-9
 - ログアウト 20-8, 20-9
- ユーザ権限、追加権限の付与 18-84

- よ
- 抑制
- アラーム報告 9-10, 21-16
 - アラーム抑制の中止 21-17
- ら
- ラック
- シェルフの取り付け 17-5, 17-7
 - 設置 1-6?1-7
 - 複数のシェルフの取り付け 17-8
- ラックへのシェルフアセンブリの取り付け
- 1人で作業する場合 17-5
 - 複数のシェルフ 17-8
 - 2人で作業する場合 17-7
- り
- リストストラップのプラグ差し込み口 17-10
- リセット
- CE-100T-8 カード 18-2, 18-3
 - PM カウント 18-26
 - TCC2/TCC2P カード 17-32
 - トラフィック カード 17-33
- リニア ADM
- アップグレード 12-8, 13-7, 13-10, 13-13, 13-15
 - 受け入れテスト 5-11
 - ノードの削除 14-22
 - ノードの追加 14-17, 14-19
 - プロビジョニング 5-9
- リピータ モード 19-82
- リフレッシュ
- FC_MR-4 カウント 21-44
 - イーサネット PM カウント 19-72, 21-37
 - その他の PM カウント 18-23, 18-24
- 履歴
- セッションエントリの最大数の変更 18-14
 - 表示 9-3
 - フィルタパラメータの変更 21-14
- リンク
- ネットワークビューでの統合 19-13
 - 表示のフィルタ処理 A-8
- リング
- MS-SPRing も参照
 - SNCP も参照
- 従属リングも参照
- リングの試験 19-18
- リングを対象にした STM 回線 6-121
- る
- ルーティング
- 光ファイバケーブル 2-21
- ループバック
- 2 ファイバ MS-SPRing 5-18
 - 4 ファイバ MS-SPRing 5-21
- 『Cisco ONS 15454 SDH Troubleshooting Guide』も参照
- SNCP 5-30, 5-43
 - ポイントツーポイント型 5-7
 - リニア ADM 5-12
- ろ
- ロール
- 1つの回線への2つのクロスコネクト 19-41, 19-45, 19-47
 - クロスコネクト 19-45, 19-47
 - 始点または終点（特定の光回線） 19-36
 - 終点、回線間 19-39
 - トラフィックのブリッジおよびロール 7-12
 - ロールのキャンセル 19-50
 - ロールの削除 19-50
- ロールのキャンセル 19-50
- ログアウト
- 単一ノードのユーザ 20-8
 - 複数ノードのユーザ 20-9
- ログイン
- 大規模ネットワークでの遅延 19-89
- ログイン ノードグループ
- 作成 17-52
 - 指定したグループからの削除 17-46
 - ノードの削除 14-11
 - 表示 17-51
- ログイン時の法的免責事項説明の変更 19-81
- ロック
- CTC、ツールバーを使用 A-5
 - ノードのセキュリティ 17-81
- ロックアウト
- クリア 19-3, 20-1
 - 適用 19-2

ロック オン

クリア 19-3

適用 19-1

わ

割り当て

アラーム重大度プロファイル 9-8

ポート名 20-8